

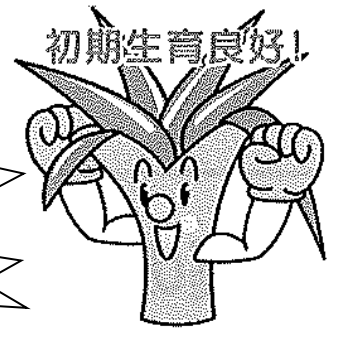
産地として選ばれる「なのはな米」 1等比率95%以上達成しよう！！

今年も高品質で美味しい「なのはな米」を目指して、高温登熟回避のため、コシヒカリは**5月15日を中心とした田植え**にしましょう。
また、それに合わせて計画的に育苗作業を行い、**健全な苗づくり**に努めましょう。

1. コシヒカリの育苗計画

消毒	浸種	播種	田植え	出穂期
4/7 (土)	4/8 (日)	4/18 (水)	5/10 (木)	8/1頃
4/15 (日)	4/16 (月)	4/25 (水)	5/15 (火)	8/4頃
4/21 (土)	4/22 (日)	4/30 (月)	5/20 (日)	8/8頃

苗の活力維持のため、播種から田植えまでの**育苗日数**は**20日程度**としましょう。
老化苗に注意！



2. 育苗スケジュールと作業内容

※細菌性病害対策として、育苗期間を通じて目安温度より高温にならないよう注意 《換気の徹底を》

月日	作業	温度管理	作業管理のポイント																		
4/15	比重選 種子消毒	水温 10℃以上を確保 (12℃が最適)	<p>①比重選で種籾を厳選。 ~病気や発芽不揃いをしっかり予防~ 硫安による発芽障害を防ぐため、比重選した種籾は水洗いを行う。</p> <p>②種子消毒は必ず化学農薬で消毒する。 モミガードC水和剤200倍液で24時間浸漬</p> <p>種子消毒ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種籾10kgに対し、水20ℓ、薬剤100gの割合とする。 ・水和剤は溶けにくいので、水は15~20℃のぬるま湯で必要量を準備し、よくかき混ぜる。 ・24時間浸漬中は1~2回袋を動かす。 ・消毒液の使用は1回限り。 <p>○比重選液の作り方の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種籾</th> <th>比重</th> <th>硫安 (水10ℓに)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>もち</td> <td>1.08</td> <td>1.5kg</td> </tr> <tr> <td>うるち</td> <td>1.13</td> <td>2.5kg</td> </tr> </tbody> </table>	種籾	比重	硫安 (水10ℓに)	もち	1.08	1.5kg	うるち	1.13	2.5kg									
種籾	比重	硫安 (水10ℓに)																			
もち	1.08	1.5kg																			
うるち	1.13	2.5kg																			
4/16	浸種	水温 10~15℃を確保 水温 浸種日数 10℃ → 10~12日間 15℃ → 7~8日間	<p>③浸種の開始を早めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水温×日数=積算温度100~120℃程度を目安とする。 ・※浸種期間の後半になったら必ず芽の動きを確認し、動きがあれば浸種を終了する。 ・10~15℃の水温と十分な水量を確保する。催芽を揃えるには、浸種を開始した初日の水温確保 (12~13℃) が重要です。 ・2日に1回は水を交換し、酸素不足を防ぐ。 ・水温が上がり過ぎないように日光が直接当たらない場所 (日かげ等) に設置する。 																		
4/24	催芽	育苗器温度 28~30℃で 20~24時間	<p>④芽が伸び過ぎないように、こまめにチェック。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均一に催芽するために1日2~3回袋を反転させる。 ・均一に播種するために種籾の水切り(脱水)は十分に行う。(籾が手に付かない程度にまで陰干しを行う。) <p>○催芽の目安 ハト胸~2mmまで</p>																		
4/25	播種 出芽	育苗器温度 30℃で2~3日	<p>⑤播種量はうす播きが基本。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水量は、床土の表面に水がにじみ出る程度とする。 ・厚播き、ムラ播きに注意する。 <p>○乾籾 120gの目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>乾籾</th> <th>芽出し籾容量</th> <th>水切り後重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120g</td> <td>200cc</td> <td>150g</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥育苗器温度は30℃が適温。こまめにチェック。 事前にサーモスタットの温度計測が正確なのか育苗器の温度設定が正しいか確認する。</p>	乾籾	芽出し籾容量	水切り後重量	120g	200cc	150g												
乾籾	芽出し籾容量	水切り後重量																			
120g	200cc	150g																			
4/28	搬出 緑化	ハウス内温度 昼: 25℃以下 夜: 10℃以上	<p>⑦芽の長さが1cmに揃ったら搬出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出時には、覆土を落ち着かせるため、必ずかん水。 ・第1葉が展開したら速やかに被覆資材をはずす。 ・育苗ハウスのビニールを新しくした場合、光の透過率が高いので注意する。 <p>低温が予想される場合は搬出を見送るか、搬出時のかん水はせず被覆資材で保温に努める。</p>																		
4/30	硬化		<p>⑧かん水は朝にたっぷりを行い、日中は床土の乾きに応じて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床土の種類によって水持ちや乾き方が異なるので、床土を変更した場合は注意。 ・田植えの7~10日前からは昼夜ともに換気し、十分外気に慣らす。 <p>○育苗期間中の病害対策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象病害</th> <th>使用薬剤名</th> <th>希釈倍率</th> <th>散布量</th> <th>防除時期</th> <th>使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白カビ、青カビ</td> <td>ダコレート水和剤</td> <td>500倍</td> <td>500cc/箱</td> <td>播種14日後まで</td> <td>2回以内</td> </tr> <tr> <td>ムレ苗、苗立枯病</td> <td>タチガレエースM液剤</td> <td>500倍</td> <td>500cc/箱</td> <td>発芽後</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>かん水に用水を用いる場合は、ムレ苗に注意！</p>	対象病害	使用薬剤名	希釈倍率	散布量	防除時期	使用回数	白カビ、青カビ	ダコレート水和剤	500倍	500cc/箱	播種14日後まで	2回以内	ムレ苗、苗立枯病	タチガレエースM液剤	500倍	500cc/箱	発芽後	1回
対象病害	使用薬剤名	希釈倍率	散布量	防除時期	使用回数																
白カビ、青カビ	ダコレート水和剤	500倍	500cc/箱	播種14日後まで	2回以内																
ムレ苗、苗立枯病	タチガレエースM液剤	500倍	500cc/箱	発芽後	1回																
5/15	田植え																				

春の土づくり

高品質で美味しい米生産の土台となるのが土づくりです。

昨年実施した土壌診断の結果では、管内の土壌は全体的にpHが低く、カリや珪酸が不足しています(図1)。

土づくりは継続することで効果が現れます。土壌改良資材の施用を中心に、確実に「春の土づくり」を実施しましょう。

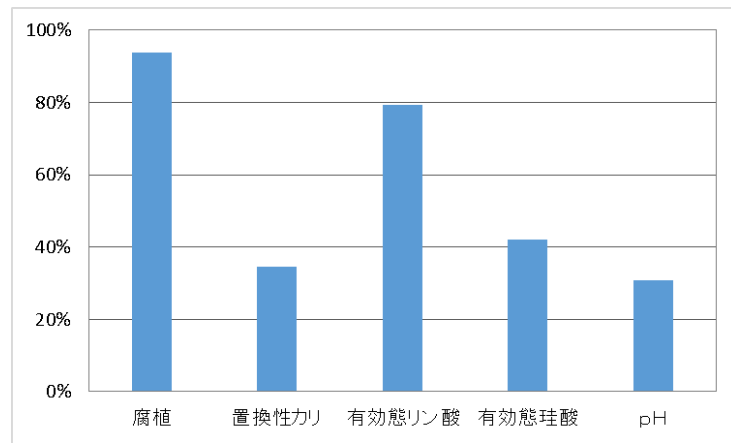


図1 土壌改良目標値を達成したほ場の割合 (H29 J Aなのはな管内 159 地点)

1. 土壌改良資材及び有機物の施用

※昨秋施用していないほ場は、必ず施用しましょう。

- ・土壌改良資材は、珪酸のほか、アルカリ分 (pH 矯正効果) などが同時に補給できます。珪酸には登熟歩合の向上の効果があります(図2)。耕起前に土壌改良資材を確実に施用しましょう(表1)。
- ・また、稲体の活力維持を図る方法として、発酵鶏糞などの有機物を積極的に施用し、地力の維持や向上(腐植やカリ等の補給効果有り)に努めましょう(表2)。

表1 主な土壌改良資材施用の目安

資材名	施用量(10a 当たり)
珪酸石灰	200kg
シリカロマン	100kg
シンキョーライトP	60kg

表2 堆肥施用の目安(春施用)

堆肥名	散布量(10a 当たり)
発酵鶏糞	75~100kg

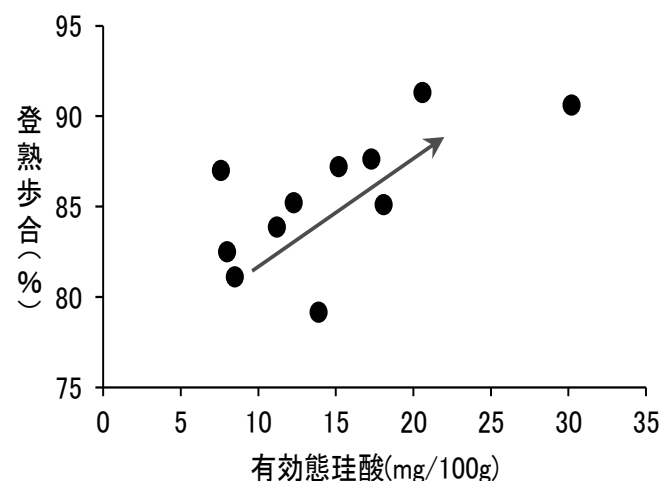


図2 有効態珪酸と登熟歩合の関係 (H26 県土壌分析結果)

2. 深耕

- ・作土層を深くすると、根圏が広がり、深く伸びた根が収穫まで稲の活力を維持し、収量・品質が向上します。
- ・耕起は、トラクターの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くして、**作土の深さを15cm以上確保**しましょう。

春の農作業安全運動 —4月1日~5月31日—

農作業事故防止のため、作業に適した服装や保護具を着用しましょう。

作業前の点検を
確実に実施!

なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています。

情報提供内容

- ・栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報と災害防止対策
- ・緊急的な管理情報
- ・その他必要と思われる情報

【提供情報例】

水稻の生育は、草丈、茎数、葉齢は平年並みとなっています。今後しばらくは、平年より気温がかなり高いことが予報されており、生育が早回ることが予想されます。今後は、飽水管理で常に土が湿った状態を維持しましょう。

営農情報提供サービスへの
登録はこちらから



http://argo-navi.net/ja/mb_login.php